

東京外国語大学留学生支援の会会報

第13号 2003年6月3日

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 東京外国語大学留学生課

Tel : 042-330-5183 or 5185 Fax: 042-330-5189

E-mail: is-tufs@nifty.ne.jp URL: http://homepage3.nifty.com/is-tufs/

1. 事業報告・事業計画の概要

会長 中嶋洋子

新緑の美しい季節となりました。会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

日頃からの当会へのご支援に深く感謝申し上げます。

さて、平成14年度事業報告と15年度事業計画について、添付資料でくわしく一覧にしておりますのでご覧頂きたいと思いますが、14年度は当会にとって大きな変化の年となりました。

前号の会報でもお知らせしましたように、外語会のご協力により、会員数が3倍に増え、現在615名となりました。年度の途中のことでしたので、会員増に伴う収入増は、各事業（鎌倉1日旅行、大相撲初場所見学など）の拡大（参加留学生の人数増、内容の充実など）、さらには、予算にはなかった会報の印刷・発送の外注などに使わせて頂き、同時に繰越金として15年度の予算に計上しました。例年より多い繰越金により、会費足以来の懸案事項がおかげさまでいくつか解決することになります。

その一つは、年に一度の大きな懇親会で必ず使う、便利な簡易舞台（簡単に移動可能）の購入です。毎年、代用品を大学構内から探し求め、重たい代物を搬入、返却といった苦勞が一切なくなります。

また、これも大きな行事の一つであるバザーのときに使う大型衣紋かけ（数十着の衣類展示可能）を3脚購入の予定です。

加えて、独自のホームページの立ち上げに伴う若干の費用、その管理費、さらには支援の会連絡室の運営費も計上することができました。

~~支援の会連絡室~~は、大学構内に支援の会の拠点ともいうべき場が欲しいというかねてからの要望が実現したものです。留学生課管轄の国際交流情報資料室（研究講義棟1階）の一面を当会の連絡室として使用させて頂けることになりました。幹事が交代で月曜日～金曜日まで毎日（今年度は12時半～16時まで）管理しています。しかし、毎日となりますと幹事の個人的な都合もあり、大学院生（留学生）に若干の謝礼を予算化し、管理の代行を考えて当室の運営費とさせて頂きました。今後留学生支援の場として一層充実させていくつもりです。従来の「留学生よろずコーナー」（第1、第3金曜日に開催）が不定期であったという短所が一気に解決され、幹事一堂新鮮な心構えでいます。会員の方々もいつでもどうぞお出かけください。

この連絡室は、すでに4月21日にオープンしましたが、この教室はもともと国際交流情報資料室ですから、日本人学生もときどき訪れ、留学生との交流の場にもなりそうです。（外国語大学なのに、意外なことに日本人学生と留学生

☆☆☆ 平成15年度分会費納入のお願い ☆☆☆

会員の皆様には、平成15年度も引き続き会員としてご支援頂きたく、本年度会費（一般会員：3千円）を同封の振替用紙にてお振込み下さいますよう、お願い申し上げます。

（すでにお振込み頂いている場合は、失礼をお詫び申し上げます）

郵便振替 00130-3-192674 名義 東京外国語大学留学生支援の会

が知り合うチャンスが少ないというアンケート結果があります。)

以上、事業の報告・計画の概要をお伝えしました。なお、事業の報告・計画は幹事会(会長・中嶋洋子 副会長・笹岡太一他9名の幹事)の慎重な討議を経て作成されたものですが、本来なら、総会で承認されるべきものです。しかし、現在のところ、総会の開催は会員の方々にとっても却って煩雑なことと判断いたし、この誌上で発表し、次号までにご異議のある方は申し出て頂き、年度の途中であっても変更を加えながら、次号にて最終的な了承を得るものと判断させていただきます。ご意見、ご批判などどうぞお寄せください。

最後に、桃沢敏幸様(会員、モンゴル語学科昭和41年卒)と氏家和彦様(神田ライオンズクラブ)より10万円のご寄付を賜りましたことを報告致します。幹事会で相談の結果、緊急貸付基金に入れさせて頂きました。これで、同基金の合計は160万円となりました。心より御礼を申し上げます。

2. 活動報告

2-1 ボランティア募集の結果ご報告

前号で当会の人手不足問題についてご説明しましたが、おかげさまで、5名の方々が新たに当会の運営をお手伝いくださることになりました。さっそく、さまざまな作業をお願いしており、大いに助かっています。

今後も、ボランティアご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加ください。

2-2 ホームページがリニューアル

～Eメールアドレスも変わりました～

当会では、会の活動を広く知って頂くためにホームページを作成し、東外大サーバーのなかで試験的運用を行ってきたところです。

今回、平成15年4月から、このホームページを名実ともに独立させ、リニューアル致しました。URLは次のように変更になります。

▼ 新ホームページのURL ▼

<http://homepage3.nifty.com/is-tufs/>

リニューアルにともない、内容も充実致しました。主な変更点は次のとおりです。

- (1) ホームページの構成を、会員向けと留学生向けに分けました。
- (2) 東外大留学生の置かれている現状を具体的に表現し、一般の方々に理解して頂けるよう努めました。
- (3) 留学生のページには、インターネット上で交流できる「留学生掲示板」を新設しました。

「留学生掲示板」は、留学生同士の情報交換のほか、生活上の具体的な支援要望などについて、掲示板に書き込むことが可能です。

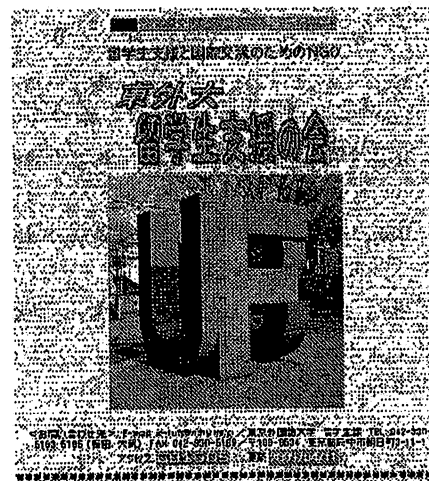
内容は一般社会ルールにそってお願いしていますが、無責任な書き込みを未然防止するために、書き込み者のEメールアドレスを明らかにして頂いていますので、ご協力をお願いします。

あわせて当会宛のEメールアドレスも新規に取得しましたので、Eメールによるご連絡は、今後、下記までお願いします。

▼ 新Eメールアドレス ▼

is-tufs@nifty.ne.jp

<新ホームページのトップ画面>



2-3 恒例の鎌倉旅行

～鎌倉在住会員の方々のご協力を得て～

当会では、毎年1月初旬、お正月の雰囲気が残っている鎌倉に留学生を案内するイベントがあります。しかし、今年はその時期に、大相撲初場所見学が入り、3月16日、春爛漫の鎌倉を案内することになりました。さらに、今年も鎌倉在住の会

員や東外大の卒業生（会員の野中千恵子様はじめ6名の方々）のご協力を得て、さすがに地元ならではの、新しい試みが加わりました。

コースの選定、56名という団体の昼食場所等、事前に何度も実際に足を運び、すばらしい計画をたて、実行していただきました。一般会員の方も4名参加して下さり、ともども留学生との会話を楽しみながら、一方、鎌倉時代の歴史や文化に触れ、充実した1日になりました。

このように、今後の企画の中に、会員の方々の発想で実現できるような行事が加わってくると行事が新鮮なものになるのではないのでしょうか？

どしどしお申し出ください。

ご苦労くださった野中さんの感想、および留学生の一口感想をご覧ください。

野中千恵子さん（会員 鎌倉在住）

（野中さんは東外大の同窓会、外語会の会報編集を担当されています。）

1月半ば中嶋洋子会長から電話を頂いた。今年で4回目になる鎌倉見学会のコースの設定、食事場所の選定をして欲しいということだった。鎌倉在住50余年の私は、これはお力にならなければと張り切ったが、一人では心もとない。「外語会会報」編集の仲間でウォーキング団体の幹事をしている松本惣蔵さんに助けを求めた。同じ編集仲間の菅原さんも先に「外語会会報」の留学生特集を取材したご縁で協力してくれることになり、さっそく3人で試し歩きをし、候補の食堂で試食をした。

中嶋会長とご相談の上、コースは北鎌倉～円覚寺～亀ヶ谷切通し～鶴岡八幡宮（食事）～大仏～長谷寺～鎌倉文学館～銭洗弁天～鎌倉駅 と決まった。要所での説明は、ボランティアの望月さんがやってくれることになり、当日は「外語会会報」の浅野さんと夫の野中も参加するという芋づる式の協力態勢が出来上がった。

留学生42名、支援の会から中嶋会長、笹岡副会長ほか8名が北鎌倉駅に降り立った。総勢56名は、これまでにない多人数だという。

松本さんは旗とハンドマイクを持って一同を引率し、私たちはグループの先頭、中ほど、後尾と担当を決めて、迷子(?)がでないよう、計画通りに歩くようにと心がけた。学生さんたちは、お土産屋に入りこんで出てこなかったり、紫いもソフトアイスを買って行ってしまったり、餌をねだるリスの写真を撮るのに時間をかけたりして、進行係が気をもむこともあった。こう

した若者らしい行動の一方、お話ししてみるとそれぞれ和歌を専攻していたり、鎌倉時代の歴史を学んでいたりと、教育学の研究生だったり、鋭い質問をしかけてきたり、皆さん優秀な方であることがよく分かる。

夕方から雨になり、銭洗弁天は省略して小町通りに戻って解散した。同行した私たちが充分楽しんだ1日であった。

ブルガリアからの留学生

日本は古い文化を持っています。鎌倉時代もその一部で、日本事情の授業でも鎌倉のことをくわしく勉強しました。しかし、鎌倉への旅行は日本の歴史の魔法を見せてくれました。円覚寺や長谷寺、鎌倉の大仏や鎌倉文学博物館を見物したり、先生方や世界中の友達とお話したり、鎌倉の桜通りやきれいな山や海に感心したり、ごちそうを食べたりして、1日中楽しかったです。

日本の鎌倉時代の巨大な影響を感じさせて頂き、どうもありがとうございました！

中国（香港）からの留学生

鎌倉も京都も日本の古都というところです。あちこちが懐しいと感じました。ガイドの方たちにくわしい説明をしてもらったら、ちゃんと鎌倉の文化の勉強ができました。

鎌倉大仏と長谷観音を拝見して、本当に中国の大仏と同じようなイメージだと思いました。昼食のあと、天気がどんどん悪くなって、最後の二つの観光地へ行くことは中止になり残念でした。夏休みの時に、もう一度鎌倉へ行きたいです。

インドネシアからの留学生

楽しかったです。いろいろな美しいお寺に案内してくれて、ほんとうにありがとうございました。鎌倉の雰囲気は東京と違って、とても自然で、気持ちがよくなってリラックスができる所だと感じました。また案内の人たちはとても親切で、見学した所についてくわしく説明してくれて、良かったです。

私にとって、この鎌倉訪問はほんとうにいい訪問でした。

3. これからの活動

3-1 ブックバザー開催

～本をお送りください～

恒例のブックバザーを東外大にて6月27日(金)に開催します。留学生のために本をご提供頂ける場合は、6月25日(水)までに、「ブックバザー用」と明記の上、下記までお送りください。

なお、送料はご負担頂けますようお願い申し上げます。

日本語の一般書籍や辞書だけでなく、子供向けの絵本や英語の書籍なども留学生には人気があります。

皆さんのご協力をお願い申し上げます。

送付先

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1
東京外国語大学留学生課
Tel: 042-330-5183 or 5185

3-2 ホームヴィジット開催

～受け入れ家庭募集中～

夏休みを中心に、留学生のホームヴィジットを計画しています。半日、1日、泊りがけなど、可能な範囲で結構ですので、留学生を受け入れてくださる会員の方は、当会までご連絡ください。

遠方の方は当会で留学生の交通費を援助しますので、東京近郊だけでなく、遠方の方の受け入れも大歓迎です。

4. 幹事会

平成15年度第1回幹事会 4月20日(日)

平成15年度第2回幹事会 5月25日(日)

☆☆☆ 留学生の体験記 ☆☆☆

留学生課職員のご友人の紹介で、3月に新潟市でホームステイを体験した、イタリア人留学生、ロッシ・エリカさんが体験記を投稿してくれました。

エリカさんはイタリアのヴェネツィア大学からの交換留学生で現在 ISEPTUFS^(注1)の学生です。

日本文学が好きで、古本屋をまわっては文学書を買ひあさっているそうです。

初めてのホームステイ 新潟市への旅行

ロッシ・エリカ

イタリアでは、日本文学といえば、特にヴェネツィア大学が有名です。

しかし、残念ながら、一般の人々は日本文学といったら、ほとんど村上春樹と吉本ばななしか知らないのです。やっと、最近本屋でノーベル賞を受賞した大江健三郎という名前が見えるようになりました。

ところで、日本文学とは必ずしも現代文学とは限らないと思います。少なくとも現代文学を分かるために古文学や近代文学などを無視するわけにはいかないのです。つまり、厳密には文学ではないですが、深く漫画の特質を理解できるようにするために、例えば徳川文学を研究したら良いのではないのでしょうか。

ともかく、数年前のことですが、偶然に、坂口安吾によって書かれた「桜の森の満開の下」という小説を読みました。翻訳でしたが、私にとってとても印象的な読書でした。なぜならば日本的なファルス^(注1)を読んだのは初めてだったからです。ところが、イタリアでは坂口安吾があまり知られていないから、その作品を読む機会が少ししかなかったのです。

ところが、忘れた安吾の名前と作品を、新潟へ行ったときに改めて思い出しました。心の底に隠れている安吾の「桜の森の満開の下」が与えた印象が、生々しい記憶として蘇りました。

実のところ新潟への旅行は様々な場面で日本文化を再発見するきっかけでした。東京を離れた新潟市行きのバスの中で「新潟とはどんな場所だろうか」と思っていると、目前にすばらしい景色が広がっていました。良い天気のおかげで山の頂上に残っている雪はキラキラ光っていました。

新潟市に着くと斉藤さんに迎えに来てもらいました。彼の家族と一緒に五日間を過ごしました。知らない人なのに私を娘のように扱ってくれました。こうして、斉藤さんたちのおかげで、知らなかった日本の伝統的な食べ物や習慣などを楽しませてもらいました。家族の人たちはみんな親切に世話をしてくれましたが、特に斉藤さんと面白い関係を結びました。一言でいえば師弟関係に似ているものがあると思います。

ところで、私は日本文学に深い興味を持っていますが、日本に来てからその興味がいくらか薄れだしたと感じました。それは、日本文学の先生にめぐり合えないのを残念に思っていたのかもしれませんが。斉藤さんは私にとって、お父さんでもあり、また魅力的な先生でもありました。坂口安吾はもちろん、他の作家も、日本映画についても教えてくれたのです。あの時、私にとって、話すというより聞くほうが大事でした。(帰った後、黙りすぎたかしらという疑問が浮かんできました)。坂口安吾は斉藤さんにとってこだわりと言っても過言ではないと思います。斉藤さんはこの数年間安吾の作品を勉強していて、現在でも、なるべく安吾のことに興味をもつようにしています。

以上の結論として、斉藤先生の性格を明らかにするために次のように述べたいと思います。

私は「斉藤さん、安吾氏に合ったことがあり

ますか」と聞いたとき、彼は「いいえ」と答えました。「機会がありませんでしたか」と聞いてみると、斉藤先生は「違うよ。機会が多かったけれど、尊敬のあまり、安吾と話すなど怖かった」と。

注1 東京外国語大学国際教育プログラムのこと。会報12号、または以下の東外大のウェブサイトをご参照ください。

<http://www.tufs.ac.jp/common/is/ryugakusei/isep/index.html>

注2 ファルス (Farce) は笑劇、ユーモア小説のこと。坂口安吾は文学論「FARCEに就て」を著している。

☆☆☆ ご寄付の御礼 ☆☆☆

桃沢敏幸様 (会員、モンゴル語学科昭和41年卒) と氏家和彦様 (神田ライオンズクラブ) より、10万円をご寄付頂きました。

☆☆☆ ご意見・投稿募集 ☆☆☆

当会へのご意見、ホームヴィジット、当会の行事に参加しての感想文など、会報への投稿もお待ちしております。

平成14年度事業報告

東京外国語大学留学生支援の会

A. 支援事業

1. バザーを2回開催

(1) ブックバザー（書籍のみ）

日時 平成14年6月28日(金) 12:00~14:00
 場所 東外大国際交流情報資料室
 書籍 約8,000冊 支援の会会員、教職員、地域住民等より
 来場者 約200名

(2) 総合バザー（日用品、衣類、書籍）

日時 平成14年11月23日(祝)
 場所 東外大1階ギャラリー
 書籍 約3,000冊
 来場者 約250名

2. 入院見舞金を支給

入院5日以上の留学生に見舞金を合計4人に支給。

3. 「留学生緊急貸付基金」の設定・貸付

神田ライオンズクラブからの寄付金（50万円）および、前学長中嶋嶺雄氏からの寄付金（100万円）により、「留学生緊急貸付基金」を設定し、入学金、授業料等に困窮している留学生に対し、貸付を行いました。貸付総数 25人 貸付合計金額 187万円

B. 友好交流事業

1. 見学行事を2回開催

(1) 大相撲初場所千秋楽の見学

日時 平成15年1月26日(日) 14:00~18:00
 場所 両国国技館
 参加者 留学生60名、支援の会幹事10名

(2) 鎌倉見学旅行

日時 平成15年3月16日(日)
 コース 円覚寺、鶴岡八幡宮、大仏など
 参加者 留学生42名、支援の会幹事4名、支援の会会員4名、鎌倉在住の会員や東外大卒業生など6名、合計56名

2. 第4回留学生との懇親会を開催

日時 平成14年11月1日(金) 18:30~21:00
 場所 東外大大学会館
 参加者 留学生200名、日本人学生100名、大学関係者・地域住民17名、支援の会会員27名、合計約340名

3. 第3回留学生写真コンテストを開催

テーマ 留学生が見た日本
 応募 10名、29作品
 展示・投票 東外大1階ギャラリー
 入賞 1等1名、2等2名、3等3名、参加賞全員

4. 会員の協力によるホームヴィジット受け入れ

- ・受け入れにご協力頂いた会員 12名 訪問した留学生数 25名

5. 「留学生よろずコーナー」を開設

- 日時 第1・3金曜日 11:00~14:00 開設日数は合計12日
- 場所 大学会館和室
- 内容 相談、日本語指導、華道、囲碁、将棋

6. その他

- (1) 懇親パーティーへ招待：平成15年1月3日に中嶋会長が留学生を自宅に招待、参加者45名
- (2) 琉球王朝芸能鑑賞：平成15年3月8日に実施、参加者8名

C. 広報事業

1. 『支援の会会報』誌を3回刊行

- 第10号 平成14年5月26日
- 第11号 平成14年10月18日
- 第12号 平成15年2月25日

2. 『支援の会リーフレット』を作成

平成14年5月に5,000部作成

3. 『東京外語会会報』誌に投稿、掲載して頂く

- 第95号 平成14年7月
- 第96号 平成14年11月
- 第97号 平成15年2月

4. 会員募集活動

- (1) 東外大新入生父兄に会員募集資料を配布。
- (2) 全会員に会報10号で会費納入、会員継続をお願いした。
- (3) 東京外語会の編集委員会が『東京外語会会報95号』の「特集 東外大で学ぶ留学生」にて、支援の会の活動を紹介して頂き、同誌を会員に発送する際には支援の会入会のための振込み用紙も同封して頂いた。その結果、400名を超える新規会員が加入し、従来の会員209名と合わせて、会員数が600名を超えるまでになった。
- (4) 平成14年11月30日開催の東京外語会総会にて、会員募集のために活動説明を行う。

D. 会議の開催（幹事会）

第1回	平成14年	4月21日
第2回		5月26日
第3回		6月30日
第4回		9月8日
第5回		10月5日
第6回		11月17日
第7回	平成15年	1月11日
第8回		2月9日
第9回		3月9日

平成15年度事業計画

東京外国語大学留学生支援の会

A. 支援事業

1. バザーの開催

- (1) ブックバザー（書籍のみ、平成15年6月）
- (2) 総合バザー（日用品、衣類、書籍 平成15年11月）

2. 入院見舞金の支給

入院5日以上留学生に、1人1万円、10名

3. 緊急貸付基金の貸与

原則として1件10万円まで、10～15名

B. 友好交流事業

1. 見学行事の開催

- (1) 国会議事堂と江戸東京博物館見学（平成15年）
- (2) 大相撲の見学（平成16年1月）
- (3) 鎌倉・江ノ島見学旅行（平成16年3月）

2. 第5回留学生との懇親会の開催

平成15年12月

3. 第4回留学生写真コンテストの開催

平成15年11月

4. 会員の協力によるホームヴィジット受け入れ

5. 「留学生よろずコーナー」を開設

華道、茶道、将棋、囲碁、俳句

6. 「留学生支援の会連絡室」（仮称）の開設

大学事務局の国際交流情報資料室内に設ける。支援の会と留学生との連絡、相談、情報交換などを行う。

C. 広報事業

1. 『支援の会会報』誌の刊行

第13号（平成15年6月）、第14号（平成15年10月）、第15号（平成16年2月）

2. 『東京外語会会報』誌への投稿

第98号、第99号、第100号

3. ホームページのリニューアル

民間プロバイダを利用し、ホームページをリニューアルする。

4. 東京外語会への協力依頼

会員募集への協力をお願いする。

東京外国語大学留学生支援の会会報

第15号 2004年2月20日

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 東京外国語大学留学生課

Tel : 042-330-5183 or 5185 Fax: 042-330-5189

E-mail: is-tufs@nifty.ne.jp URL : <http://homepage3.nifty.com/is-tufs/>

1. ご寄付への御礼など

会長 中嶋洋子

やっと寒さも緩みはじめてきましたが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。日ごろから、当会に対しなにかとご支援をいただき、深く感謝いたします。

さて、当会の15年度の活動も終わりに近づいてまいりましたが、これまでのように毎日、「留学生支援の会連絡室」(国際交流情報資料室の一角)を開き、留学生のさまざまな相談に応じ、同時に華道、書道、茶道、将棋、ギターなどの同好会も順調に活動しています。

古都鎌倉を訪ねる計画も、3月14日と決まり、今年度最後の行事として詳細を検討中です。昨年同様、鎌倉在住の外語会メンバーの方々のご協力くださる予定です。

また、当会会報の前号で、留学生の経済状況の悪化に伴うご寄付のお願いをいたしましたところ、多くの会員の皆様からご協力をいただきました。前号でお伝えしたように、昨年11月1日以降にご寄付をいただきました方々のお名前を、次ページに掲載してございます。心より御礼を申し上げます。

さらに、池端雪浦学長からは、毎年多額のご寄付をいただいておりますし、川口健一先生(昨年度学内留学生委員会委員長)から10万円、日本課程の望月圭子先生を通じて留学生交流のあるイギリスのリーズ大学より、57万円のご寄付をいただきました。

緊急貸付基金へのご寄付は計356,000円、用途に指定のない一般のご寄付(リーズ大学よりのご寄付を含む)は計1,180,000円です。一般のご寄付も基金へ充当するか、あるいは一般会計へ充当するか、現在検討中です。

基金の利用状況、今年度の事業・収支報告、

来年度の事業計画・予算は、6月発行予定の次号会報にてご報告いたします。

2. 活動報告

2-1 国会議事堂・江戸東京博物館見学

10月26日(日)に実施した、この二つの施設の見学は、当会としては初めての試みでしたが、留学生24名、日本人学生3名、幹事5名、留学生の母親1名、飛び入りのカナダからのビジネスマンの総勢34名でした。

国会議事堂の見学は、東外大同窓の中村敦夫参議院議員のご紹介で実現したもので、秘書の川久保さんが、我々を出迎え、終始お世話してくださいました。

全員が揃うのを待って、午後1時半に見学者通用門をくぐり、受付で和・英・中・韓の四つの言語別の説明資料を受け取り、重厚な建物の館内に進み、参議院本会議場の傍聴席に着きました。留学生にとってもたいへん分かりやすい説明(録音)に耳を傾けながら、半円形の議場を見渡しているうちに、折から休会中ではありましたが、多くの議員が討議している場面が、目に浮かぶような気がしてきました。留学生もその雰囲気浸ったせいか、多くの質問が出され、予想以上に興味を持ったようです。

その後、委員会室とか皇族休憩室などを横目に見ながら、じゅうたん敷きの廊下を伝っておもてへ出て、聳え立つ堂塔を背にグループフォトの撮影で、議事堂見学は終わりました。

国会議事堂のある永田町から、地下鉄・JR総武線を乗り継いで、次の見学先の両国駅前にある、江戸東京博物館へ移動しました。館内へ入ってまず驚かされるのは、江戸時代そのままの

大きな日本橋の模型です。その向こう側には、武家屋敷や民家、生活日用品、美術品、その他数え切れないほど多数の展示品が見事に陳列されていました。留学生は、興味と関心の赴くままに、自由に熱心に、観覧して回りました。

近々300年ぐらいの歴史の流れと現在の東京を比較して、留学生はどう感じたのでしょうか。

博物館を出ると、外は夕暮れで、お腹も空いてきたので、ちゃんこ鍋を囲んで、歓談を交えながら疲れを癒しました。

今回の見学会の企画と準備は、当会幹事の久保勝脩さん(ドイツ語学科昭和41年卒)が熱心に進めてこられたのですが、残念なことに、その直前に急逝されました。心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

2-2 留学生支援バザー

外語祭期間中の11月23日に、研究講義棟1階にて、毎年恒例のバザーを開催しました。

会員の皆さん、教職員の方々、ご近所の方々から、これまでになく、たくさんの物品をお送りいただき、おかげさまで、約17万円の売り上げがありました。留学生だけでなく、外語祭の来場者にも留学生の倍額でお買い上げいただきました。留学生に特に人気があったのは、寝具、冬物衣料、家電製品でした。

ご協力、ありがとうございました。

2-3 留学生写真コンテスト

バザーと同時併行でおこなわれた「写真コンテスト」は、「留学生の見た日本」のテーマで、賑わいの中、文化の香りと共に、交流と対話の

輪が広がりました。

留学生18名の47作品が展示され、来場者による250票の投票により、入賞した6作品に、当会から賞状と副賞の賞金が贈られました。参加賞は図書券でした。

第1位はガンブへさん(中国、内蒙古、博士課程3年)の「水晶富士」、2位はキャサリン・ベイリーさん(オーストラリア、日本語・日本文化研修生)による弓道風景の「集中に的中」と、マスリー・ワエルさん(シリア、ISEP短期留学生)の落葉の群れた美を求めた「朱の心」でした。3位は、中国の王思羽さんと張盛開さん、タイのスィーテップ・ナッタウトさんの3作品でした。

「すごい!」と声を発した見学者もいたほどで、一枚一枚の写真が表現しているのは、限りなく芸術の世界に迫ろうとする美と光の世界で、心象風景ニッポンでした。

入賞6作品は、展示風景と共に、当会のホームページに掲載してありますし、連絡室にも掲示中ですので、どうぞご覧ください。

2-4 五十嵐さん主催 寿司パーティ

12月1日(月)に、協賛会員の五十嵐脩介さんが、息子さんの経営するイタリアンレストラン「ラチェロ」で、寿司パーティを開催してくださいました。留学生22名と幹事2名が参加しました。

夕方6時から2時間余り、留学生はおいしいお寿司に満足し、和やかなひとときを過ごしました。最後に五十嵐さんが用意された色紙に、一言ずつお礼の言葉などを書き、解散しました。

参加した留学生が感想文を寄せてくれましたので、以下に掲載いたします。

☆☆☆ ご寄付の御礼 ☆☆☆

次の方々からご寄付をいただきました。ありがとうございました。

会津洋、浅野偕子、浅野尚文、阿部眞吉、生山裕美子、池端雪浦、石井和子、石井清房、石嶋啓造、伊藤雅夫、伊藤洋子、井上敏治、岩永達郎、上原尚剛、榎本昭、遠藤高子、遠藤信夫、大久保志朗、大河内賢治、大山幸房、川口健一、北和郎、木村三紀子、工藤泰山、栗原三智子、駒井義明、酒井格、坂本喜郎、佐野祐美子、重光啓二、新堂睦子、杉森茂、鈴木一正、鈴木茂樹、鈴木千尋、鈴木正道、須藤総世、関一郎、タカオカアキオ、高木秀雄、高松みどり、田口勝美、田島教雄、館浩道、立岡秀介、田中啓雍、田原明、丹藤佳紀、寺田朗子、中井資員、中島剣山、中島正隆、中村英深、中村真理子、芳賀知子、早山慎司、福井治弘、古川早紀子、星野金秋、堀田健彦、牧野伸明、町田孝次郎、松下宗柏、望月征美、森岡そのえ、築田長世、山岸隆夫、山田昌志、山村光司、山本博史、湯浅幾雄、米原次郎、リーズ大学、匿名希望の方々

(敬称略、50音順、平成15年11月1日～平成16年1月31日)

お寿司パーティに参加して

キャサリン・ベイリーさん

(日本語・日本文化研修生 オーストラリア)

私はお寿司が大好きです。自分の携帯のメールアドレスを sushi-lover「寿司ラバー」にするほど大好きです。ですからある日、留学生課に行って梅田さんから寿司パーティがあるということを知った時、とても行きたくて楽しみにしていました。

パーティ当日、20人以上の留学生が留学生課の前に集合しました。ただで、しかもこんな大人数に、お寿司を御馳走してくれる人はなかなかいないでしょうと思いつつ、店内に約束の時間ぎりぎりに入りました。留学生の数はあまりにも多すぎて、立って食べなくてはならない人もいたほどでした。それなのに、トテモいい笑顔で、お寿司を握ってくれた五十嵐さんは待っていました。すでに用意してあったお寿司をあっという間に食べてしまい、私たちは五十嵐さんに甘えて好きな寿司を言って、個人的に握ってもらいました。珍しく、私は山葵が好きじゃありません。しかし、五十嵐さんは私のために、何回も山葵抜きで、私の大好きなホタテとマグロを握って下さり、私はとっても満足しました。

店内のほかの留学生も一時間後には、おなかがいっぱいになり、嬉しそうに友達と話していました。皆も五十嵐さんのおかげで、幸せ一杯で帰途につきました。

五十嵐さん、お疲れ様でした。とっても美味しかったです。御馳走様でした。

2-5 国際交流の集い

12月19日(金)に東外大にて、留学生のための国際交流事業として「日本文化交流会」と「国際交流の集い」が開催されました。

今年度は、東外大と当会の共催、武蔵野市国際交流協会後援という形で実施されました。

まず、午後1時より学生会館において、日本の多彩な伝統文化を留学生に紹介し、体験させるための「日本文化交流会」を、それぞれの集會室で、1. 着物の着付け、2. 茶道教室、3. 墨絵、折り紙教室、4. 華道教室、5. 将棋教室を、当会の幹事・会員を中心に、武蔵野市国際交流協会に協力をお願いし開催しました。初めて見る美しい着物を着せてもらい、うれしさで頬をピンクに染めて、写真に収まる留学生、着物のまま神妙な面持ちで、お茶会に参加する留学生、

墨絵教室で色紙を完成させ、「国へのおみやげ!」とうれしそうに見せる留学生、お茶のお点前を着物姿で上手にやってみせる留学生など、心の底からこの多彩な日本文化体験を満喫していました。200名以上の留学生が参加し、教える側も教わる側も楽しい時間を共有しました。

夕方6時から、恒例の「国際交流の集い」です。学生会館の会場には、日頃から留学生を支援、協力して下さっている奨学財団、地域住民、教職員、日本人チューター等、留学生を含めて400名近い人々が集まり、交流の輪を広げました。あちこちで、留学生たちは日頃話す機会の少ない人たちとの会話を楽しみ、親睦を深める機会を得ることができ、楽しそうでした。

パーティ後半の、留学生が司会のアトラクションの部では、タイ、インドネシアなどからの留学生たちのプロ並みの踊りや歌に加えて、学生後援会の会長指導の日本の子供による日本舞踊の披露、留学生課職員によるハワイアンダンス、支援の会と学生のギター合奏など盛りだくさんで、おおいに会場がもりあがりました。当会によるくじ引きゲームも、今回が初めての企画で、会場をわかしました。

当会にとっては、初めての大学との共催の事業でしたが、成功裡に会を閉じることができました。来年は、更なる発展を期したいものです。

2-6 大相撲初場所見学

昨年好評に承えて、今年も大相撲初場所千秋楽(1月25日)の見学会を企画したところ、当初の募集人員50名はあっという間に満杯となり、やむなく入場券を追加入手し、当日は57名の留学生が、両国の国技館に参集しました。

モンゴルや韓国の留学生は、自国の力士が出場していることもあって、応援に力が入っていましたが、そうでない国の留学生も熱心に観戦していました。

以下に留学生の「一口感想」を紹介します。(日本語が十分に書けない留学生もいるので、原文を尊重しつつ、一部訂正してあります)

モンゴルからの留学生

大相撲初場所見学ができてとても嬉しいです。モンゴル人は相撲が大好きで、初場所を見て、横綱にもお会いできて、この1年間は仕事や生活が問題無く進むと言われています。家族と一緒に見学できてなにより嬉しく思いました。支援の会の皆様、本当にありがとうございました。(注: チケットをかうつもりで、ご主人とお子さんを連れてきたものの、既に売切れ。総勢67人

分のお弁当を買った場内十六番案内所のご主人のご好意で、添乗員として入場でき、幹事一同ホット一息、といった場面がありました。）

韓国からの留学生

私は日本に来て今年で7年目になりますが、相撲を見学しに来たのは今回が初めてです。もちろん両国国技館も初めてです。ありがとうございます。

以前からテレビで相撲をよく見ていたのですが、やはり直接見ると全然違います。競技そのものも迫力いっぱい、日本と日本人、そしてその文化を肌で感じるころでした。

今まではあまり気づかなかった、日本人にとっての相撲について考えさせられました。それは、伝統文化である相撲になぜ外国人が参加し、またそれはいつからだったのかということです。そういえば、他の競技、他の国でもそのようなことがしばしばありますが、どうしても相撲だけは、日本人だけの競技が似合いそうです。

「支援の会」のみなさま、本当にありがとうございました。大切な思い出としてずっと持ちつづけます。

中国からの留学生

日本に留学に来る前から日本の伝統的な国技一相撲に強い関心を持っていましたが、今日、国技館で直接拝見できるとは思ってもいませんでした。勝ち負けはごく一瞬に決まりますが、一生懸命に最後まで健闘する姿を見ると、一つでもたくさんのものを学び、留学目的を果たすために頑張りたいという決心が一層強まりました。貴重な体験をさせてくださったことに厚くお礼を申し上げます。

中国からの留学生

いろいろな相撲ならではの独特な儀式を間近で見るととてもおもしろかった。それに、今までのイメージでは、相撲選手や相撲自体も遅いと

いう風に思っていたが、以外と進行も速く、皆すばやく動いていて少し驚きました。また、動作の一つ一つに意味があると聞いて、非常におもしろかったし、日本の伝統文化の一面に触れたような気がしました。

中国からの留学生

日本の国技である相撲を見ながらいろいろ感じました。まず、日本国民の国技への熱愛、昔ながらの習慣などをそのまま守って、それを楽しむことは珍しいと思いました。そして裸と裸の戦いを通じて純粹さを求める素晴らしい競技だと思えます。この機会に、私は日本文化を深く理解することができました。

台湾からの留学生

来日前から衛星放送を通じて、来日後はブラウン管を通じて大相撲を見てきましたが、生で見るのは初めてで、大変感激しました。迫力が違いますね。日本の伝統を最良のかたちで守ってきただけでなく、庶民に最高の娯楽を提供しているのですから、大相撲は日本にとって、そして日本人にとってまさに国技であり、伝統そのものですね。ありがとうございました。

3. これからの活動

鎌倉見学会 ～留学生と散策しましょう！～

毎年恒例の鎌倉見学会ですが、今年度は3月14日（日）に開催します。参加費は約3,000円の予定です。参加希望の方は、3月11日までに当会へご連絡ください。

4. 幹事会

平成15年度第7回幹事会	11月22日（土）
平成15年度第8回幹事会	12月7日（日）
平成15年度第9回幹事会	1月18日（日）
平成15年度第10回幹事会	2月15日（日）

☆☆☆ 会費納入に関するお願い ☆☆☆

当会の会費は、会計年度（4月から翌年の3月）に合わせて、年度ごとに納入をお願いしております。平成16年度分の会費につきましては、6月発行予定の次号会報に、振込用紙を同封いたします。また、お振込みいただく際には、会費、ご寄付など、お振込み内容を明記くださるよう、お願い申し上げます。

☆☆☆ 人手不足です！ ボランティア募集中 ☆☆☆

ボランティアを募集しています。条件は、(1)月1回程度(土曜もしくは日曜)、府中キャンパスもしくは本郷サテライトでの会合に出席できる方、(2)Eメールの送受信ができ、パソコンで、ワード、エクセル、アクセスの少なくとも1つを操作できる方。関心のある方は、お気軽に当会までお問い合わせください。